

# 排他主義が死刑の賛否に与える影響

著者 中村晏子・堀井駿介・小暮謙仁・ビョンクムジュ  
所属先 慶応義塾大学経済学部3年生

## 1. はじめに

昨今において、死刑は国際的な逆風にさらされている。法が統制されてから今まで、先進国をはじめとする多くの国々で死刑は極刑として犯罪者を罰してきた。法が統制される前においてすら、死は最大の罰として与えられるものであり、多くの歴人が死刑に処されてきた。このように現代人にとって死刑は当たり前のよう存在し続けてきた。にもかかわらず、世界的に死刑撤廃が叫ばれている。2015年現在の時点で、140の国と地域で死刑は実質的に廃止されている（アムネスティ日本 HP [http://www.amnesty.or.jp/human-rights/topic/death\\_penalty/](http://www.amnesty.or.jp/human-rights/topic/death_penalty/)）というデータもあるように、今や過半数の国と地域が死刑を撤廃している。その中にはEU諸国などの先進国も含まれており、それどころか「先進国の中で死刑存置しているのは日本とアメリカだけ」と言われることもある。世界は確実に死刑撤廃へと進んでいるのだ。このような風潮には様々な理由が考えられるが、私たちはその中で人々の世界観の変化に焦点を絞って、原因究明を行った。ここで、世界観とは「ひとつの人々の集団が生活を秩序づけるために用いている、現実の性質についての認識、感情、判断に関する、基礎的な仮定と枠組み」（Hiebert, 2008）である。さらにその中で1つの世界観に着目した。それは「排他主義」である。排他主義とは「自分と自分の仲間以外のものを容易に受け入れず、むしろ排斥するあり方や態度。他を排斥する主義」（日本語表現辞典 Weblio 辞書 <http://www.weblio.jp/content/排他主義>）と辞書では定義されている。私たちは、排他主義という世界観を強く持つ人ほど、社会という共同体から犯罪者という異端者を締め出す、つまり死刑を求めると考えた。なので、私たちは排他主義を「自分や自分の所属する共同体にそぐわないものは排除すべきだ」という確信」という世界観と定義した。また、私たちは排他主義と死刑の賛否の関係を調査するにあたって無視できない世界観があると考えた。それは「命の尊重」である。この世界観を分析する際、私たちの研究には次の2つの要素が大きく関わると考えた。命は何者にも故意に奪われてはならないという確信の強さと犯罪者の命と一般人の命の重さに優劣はないという確信の強さである。私たちはこの2つの確信が強い人ほど、犯罪者の命でも奪ってはならない、つまり死刑に反対すると考えた。もし排他主義が与える死刑の賛否への影響が確認できたら、死刑の在り方を社会の閉塞性という観点から考えることができる。また、死刑を採用している国もしていない国も将来的な法の新たな形を予測する観点を提供することができる。これによって、未だ法が整っていない途上国の法整備にも、その国の国民性や民族性を分析することで応用できると考えられる。

## 2. 仮説

排他主義という世界観を強く持つ人ほど、社会という共同体から犯罪者という異端者を締め出す、つまり死刑を求めるのではないかという仮説を立てた。

### 3. 研究方法

#### A) 質問項目

- ① 一般人の命の価値を 100 としたら、殺人犯の命の価値はどれくらいだと思いますか？0（価値なし）から 100（一般人と全く同じ）の間で教えてください。ただし、この殺人犯は、あなたの見知らぬ他人とします。
- ② 国際結婚をすることに抵抗がありますか？【抵抗がある・どちらかといえばある・どちらともいえない・どちらかといえばない・抵抗がない】の中から選んでください。
- ③ あなたに 10 万円が与えられ、このお金のうちいくらかを国内の被災地へ残りを海外の被災地へ募金するとします。あなたは国内の被災地にいくら募金しますか？ただし、両被災地とも被害額は 20 兆円で同じとします。
- ④ 死刑の執行に賛成ですか？0（強く賛成）から 100（強く反対）の間の数値で教えてください。ただし、冤罪の可能性は無く、被害者に遺族はおらず、死刑は報道されず（この死刑は犯罪抑止の効果を持たない）、受刑者はあなたの見知らぬ他人とします。
- ⑤ あなたの性別を教えてください
- ⑥ あなたの年齢を教えてください。【10 代・20 代・30 代・40 代・50 代・60 代・70 代・80 代以上】

#### B) 調査方法

日本人大学生と韓国人大学生を中心にアンケートを取り、その結果を回帰分析することで研究を行った。アンケートは LINE などの SNS を活用することで集めた。質問は 6 項目である。①～③の質問は世界観に関する質問であり、結果を説明変数として扱った。①の質問では犯罪者の命についての世界観、②と③の質問では国際的な例をあげることで排他主義の強さをそれぞれ調べた。④の質問では死刑の賛否を調査し、結果を被説明変数として扱った。⑤と⑥の質問はそれぞれ性別と年齢層を調査し、結果はダミー変数として活用した。また、一部の質問項目にある状況の設定は、この研究に関係のない世界観や事実を排除するためのものである。

### 4. 研究結果と考察

アンケート調査の結果、日本人 26 人と韓国人 30 人からサンプルを集めることができた。

説明変数

X 国際結婚（設問②）

Z 独裁者ゲーム：国内—国外の金額が大きいほど排他的だと捉える（設問③）

A 命の価値（設問①）

B 性別（0=男性、1=女性）（設問⑤）

C 国（0=日本、1=韓国）（設問⑥）

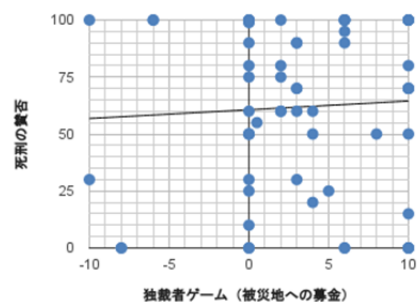
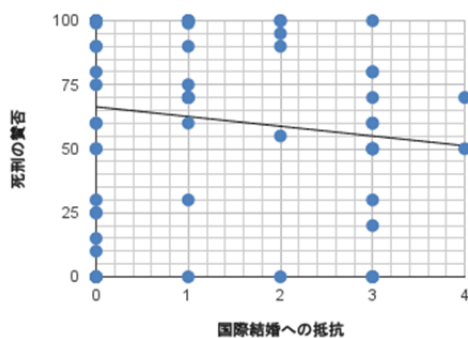
被説明変数

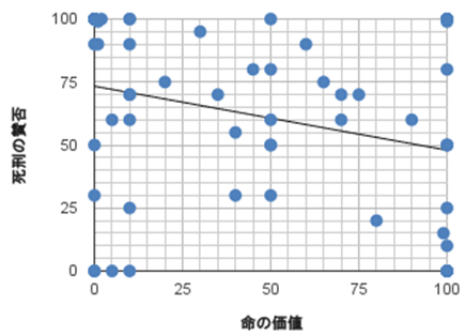
Y 死刑賛否（設問④）

\*アンケート韓国バージョンでは、独裁者ゲームを 100 円=1000 ウォンで計算して換算（つまり、100 万ウォン=10 万円）

### 日韓合わせた単回帰分析

被説明変数	説明変数	符号・有意性
Y 死刑に賛成か反対か	X 国際結婚	+ 0.284
	Z 10 万円の募金	+ 0.666
	A 殺人犯の命の価値(対一般人)	+ 0.022*

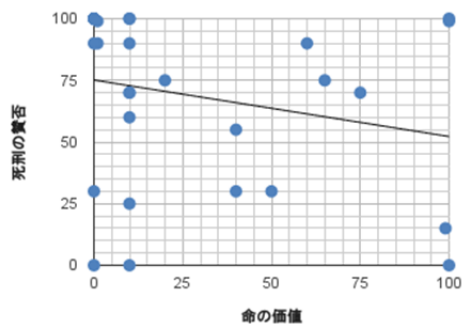
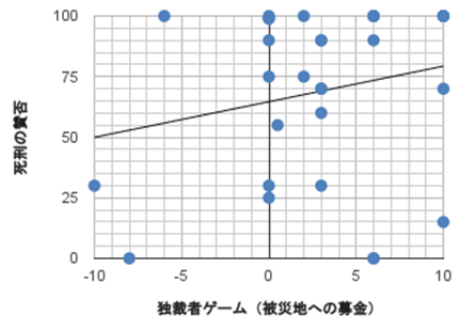
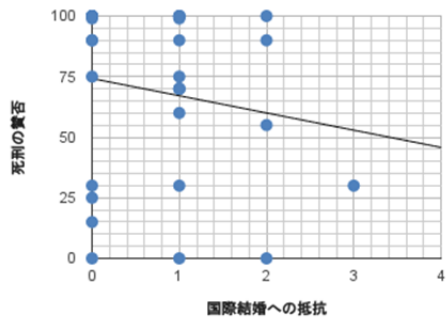




### 韓国の単回帰分析

被説明変数	説明変数	符号・有意性
Y 死刑に賛成か反対か	X 国際結婚	- 0.386
	Z 10万円の募金	+ 0.266
	A 殺人犯の命の価値(対一般人)	- 0.218

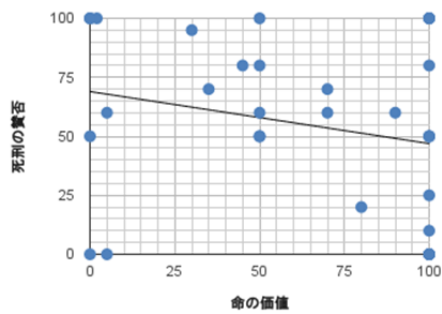
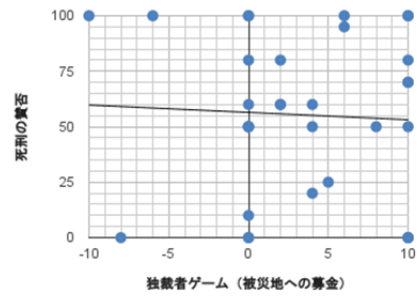
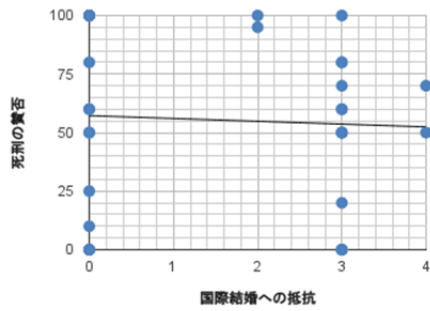
被説明変数	説明変数	符号・有意性
Y	A	- 0.194
	X	- 0.329
	A	- 0.1800
	Z	+ 0.452



日本の単回帰分析

被説明変数	説明変数	符号・有意性
Y 死刑に賛成か反対か	X 国際結婚	- 0.7781
	Z 10万円の募金	+ 0.7835
	A 殺人犯の命の価値(対一般人)	- 0.1857

被説明変数	説明変数	符号・有意性
Y	A	- 0.1247
	X	- 8.3757
	A	- 0.1800
	Z	- 0.452



## ダミー変数単回帰分析

$$Y_i = a + bX_i + cD_i + dX_iD_i$$

Coefficients:

	Estimate	Std. Error	t value	Pr(> t )
(Intercept)	61.192	9.622	6.360	3.45e-08 ***
X	-2.489	4.275	-0.582	0.563
D	8.580	13.137	0.653	0.516
DX	-1.856	9.236	-0.201	0.841

---

Signif. codes: 0 '\*\*\*' 0.001 '\*\*' 0.01 '\*' 0.05 '.' 0.1 ' ' 1

これから、Dの係数及び、DXの係数のP値は有意性を持たず、日本と韓国に有意の違いが確認できない。

## 重回帰分析

$$Y_i = a + bX_i + cZ_i \quad (Z_i \text{ は排他性変数})$$

Coefficients:

	Estimate	Std. Error	t value	Pr(> t )
(Intercept)	59.0036	7.7104	7.652	2.35e-10 ***
Z	-0.5423	1.1812	-0.459	0.648
D	2.9011	10.7075	0.271	0.787
DZ	2.2459	1.7732	1.267	0.210

---

Signif. codes: 0 '\*\*\*' 0.001 '\*\*' 0.01 '\*' 0.05 '.' 0.1 ' ' 1

Coefficients:

	Estimate	Std. Error	t value	Pr(> t )
(Intercept)	72.4314	9.6081	7.539	3.65e-10 ***
A	-0.2526	0.1189	-2.125	0.0379 *
D	6.0519	11.1622	0.542	0.5898
DX	-5.8618	7.9409	-0.738	0.4634

---

Signif. codes: 0 '\*\*\*' 0.001 '\*\*' 0.01 '\*' 0.05 '.' 0.1 ' ' 1

これから、Dの係数及び、DXの係数のP値は有意性を持たず、日本と韓国に有意の違いが確認できない。

## ダミー変数重回帰分析

$$Y_i = a + bX_i + cZ_i D_i + eZ_i D_i$$

Coefficients:

Estimate Std. Error t value Pr(>|t|)

(Intercept) 69.9414 12.8974 5.423 1.29e-06 \*\*\*

A -0.1677 0.1690 -0.992 0.325

X -1.6174 4.2743 -0.378 0.707

D 11.3293 16.7214 0.678 0.501

DA -0.1657 0.2437 -0.680 0.499

DX -4.7299 9.1401 -0.517 0.607

---

Signif. codes: 0 '\*\*\*' 0.001 '\*\*' 0.01 '\*' 0.05 '.' 0.1 ' ' 1

Coefficients:

Estimate Std. Error t value Pr(>|t|)

(Intercept) 71.3711 13.0791 5.457 1.14e-06 \*\*\*

A -0.1937 0.1666 -1.163 0.250

Z -0.7153 1.1759 -0.608 0.545

D 0.5102 16.4901 0.031 0.975

DA -0.0756 0.2490 -0.304 0.763

DZ 1.7259 1.8209 0.948 0.347

---

Signif. codes: 0 '\*\*\*' 0.001 '\*\*' 0.01 '\*' 0.05 '.' 0.1 ' ' 1

Residual standard error: 35.72 on 56 degrees of freedom

Multiple R-squared: 0.1036, Adjusted R-squared: 0.02356

F-statistic: 1.294 on 5 and 56 DF, p-value: 0.2794



以上より、日韓合わせて単回帰分析を行った際に、殺人犯の命を一般人と同等にとらえる世界観が死刑の賛否に影響を与えているという有意な結果は得られたが、排他主義の死刑の賛否に対する影響は得られず、また日韓別々に分析を行ってみたものの両国に有意の差は確認できなかった。

## 5. 終わりに

今回の研究では、当初仮説として立てていた「排他主義的な世界観を強く持つ人ほど死刑を求める」という予想は立証されず、「命の価値を平等に重んじるほど死刑を求めない」という当然の事実しか見いだせなかった。

原因として、標本数が日韓それぞれ 30 人ほどとすくなく、アンケートの回答者に聞いた感想からアンケートの設問が練り切れなかった可能性がある。

したがって、今後可能な範囲でアンケート調査の前に死刑の賛否に関わる価値観を再び洗い出し、アンケートの再構と実地、その分析を行って、死刑の賛否に与える影響について研究を進めていく予定である。